

令和5年度 羽咋中学校教育目標並びに教育方針

羽咋市立羽咋中学校

1 教育目標

校訓「**気力・体力・学力**」を基底とし、心身ともに健全でたくましい生徒の育成を目指す

2 教育方針

【めざす学校像】

生徒にとって安全・安心な学校

- 生徒・教職員が共に目標に向かって努力し、生き生きと活動しながら成長できる学校
- 家庭・地域と連携し、共に生徒を育てる開かれた学校

【めざす生徒像】

21世紀をたくましく生きる生徒

- 「**気力**」…思いやりと奉仕の心を持ち、最後まで成し遂げる生徒
- 「**体力**」…体と心を鍛え、心身ともに健全な生徒
- 「**学力**」…自ら進んで学び取る生徒

【めざす教師像】

周囲から信頼される教師

- 生徒一人一人の理解に努め鍛えて伸ばす教師
- 豊かな人間性と確かな指導力のある教師

3 学校運営の柱

- 「羽咋中での全ての活動は、君たちの豊かな将来の生活や仕事につながる」を基本コンセプトに、教科等の授業における学びと社会とのつながりを意識させ、学ぶ意欲を高めるキャリア教育を推進する。
- 「時を守り、場を淨め、礼を正す」(森 信三)を学校生活の三原則とし、凡事徹底に努める。

4 本年度の努力点

① 令和の日本型学校教育の実践

- 「個に応じた指導」の充実を図ると共にICTの活用、少人数授業等によるきめ細かな指導を充実する。
 - ▶ 支援の必要性や生徒の特性に応じた指導と興味・関心に応じた学習活動や学習課題の設定
- 探究的な学習や体験活動等を通して、他者と協働して、よりよい学びを生み出す指導を充実する。
 - ▶ 「羽咋中授業スタイル」による学び合いを取り入れた授業、「HAKUISM」によるICT器機を活用した授業の実践

② 学校運営の柱の徹底した実践

- 羽咋中版キャリア教育の視点を生かし、授業改善により学習意欲と学力の向上を図る。
 - ▶ 全ての教育活動とキャリア教育を連携・接続させた取組の推進
- 学校生活の諸活動を「時を守り、場を淨め、礼を正す」実践の場としてする。
 - ▶ 遅刻0(ゼロ)・黙動清掃・挨拶運動を充実し、将来の社会人として必要な資質を養う

③ 生徒の主体的な活動を核とした実践

- 生徒の自己有用感を実感させ、自己決定の場を持ちながら、共感的な人間関係を育む。
 - ▶ 教科等の活動や特別活動等と委員会活動・学校行事との意図的・計画的なリンク
- 人間関係形成能力を育む活動を推進する。
 - ▶ 「羽トーク」の実践、自主的・自律的な部活動の推奨や効果的な家庭学習の取組の充実

④ 生徒・保護者との信頼関係の構築に向けた実践

- 「子供のよりよい成長を目指す」という視点で保護者との信頼関係を構築する。
 - ▶ 傾聴し、任せて見守る教師の姿勢
- いじめ・不登校を生み出さない温かい集団づくりに努め、トラブルに対しては迅速、丁寧に対応する。
 - ▶ 適切な初動と相手の立場に立った言動による対応

⑤ 教職員のワーク・ライフバランスの意識した実践

- 提出物の点検や道徳、学活等、学級担任と副担任(級外)が連携した学級経営を進める。
 - ▶ 業務の平準化と一人の教師に頼らない組織的な学校運営への参画意識
- 毎週水曜日を「ノー部活デー」とし、教職員全員が18時30分までに完全退校する。
 - ▶ 形骸化しない取組の推進による働き方改革